

平成24 年度（ 23 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 24 年 10 月 2 日

1 事務事業の現状（DO）	事務事業名	No. 680301	母子寡婦福祉協議会補助事業				主管課名	子育て支援			
	この事務事業の位置	政策	社会と次代を担う自立した人材の育成				課長名	小野田 猪之吉			
		施策	安心して子どもを産み、育てられるまち								
		基本事業	子育て支援サービスの充実								
(1)事業の概要											
市母子寡婦家庭で構成される母子寡婦福祉協議会に対し、各親子の交流を密にし、母子寡婦福祉の向上を図るための事業に対する補助。						(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)					
【補助対象事業】 会員研修会、会員交流会、役員研修会 【補助額】 基準額：372,000円 【補助率】 3分の1						名称		単位			
						事業回数		回			
						事業回数		回			
						その指標					
(23年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)		市母子寡婦福祉協議会より補助金申請を受け、事業内容等を精査し、交付決定し、補助金を交付している。(市母子寡婦福祉協議会事業：一泊研修会、激励会等) 補助基本額 1,116千円×1/3=372千円を限度額とする。 市母子寡婦福祉協議会が実施する就業機会の増大や国家資格の取得などを啓発する事業									
24年度計画	前年と同様 変更あり	変更内容	みよし市母子寡婦福祉協議会が行う父又は母と生計を同じくしていない児童がいる家庭の生活の安定と自立を促進する事業に補助金を交付する。								
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)						(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)					
市母子寡婦福祉協議会						名称		単位			
						市母子寡婦福祉協議会に加入している家庭		件			
						児童扶養手当を全部停止されていないひとり親家庭					
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)						(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)					
母子寡婦家庭相互の交流を図る就業機会の増大や国家資格の取得などを啓発するイベントにひとり親家庭の親に参加してもらう。						名称		単位			
						交流会に参加した家庭数/参加家庭数		%			
						イベントに参加した人数		人			
(4)結果(上位基本事業の意図：基本事業にどのように貢献するか)						(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)					
安心して子育てしてもらう						名称		単位			
						子育て支援の相談件数		件			
						ファミリーサポートセンター援助活動の回数		回			
						子育てに関する相談件数		件			
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標											
指標	年度	単位	22年度実績値	23年度実績値	24年度計画値	25年度目標値	26年度目標値	27年度目標値			
(5)の活動指標		回	2	2							
		回			0						
(6)の対象指標		件	90	100							
				310	320						
(7)の成果指標		%	100	100							
		人									
(8)の結果の成果指標		件	1,231	1,232	1,232						
		回	1,484	1,419	1,419						
		件	2,509	2,262	2,262						
(10)予算費目	会計	01 一般会計				款	03	項	02	目	01
(11)コスト											
事業費(決算又は予算額)		年度	22年度実績値	23年度実績値	24年度計画値	25年度目標値	26年度目標値	27年度目標値			
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0	0			
	一般財源	千円	372	372	100	0	0	0			
	人件費B	千円	4,804	113	38	0	0	0			
正職員従事時間×人数		時間×人	10×1	30×1	10×1	×	×	×			
正職員以外の人件費		千円	4,767								
その他費用C		千円	2								
トータルコストA+B+C		千円	5,178	485	138	0	0	0			
単位あたりコスト(トータルコスト/(6)の対象指標)		千円/件	58	5	2	0					

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No.	680301	母子寡婦福祉協議会補助事業
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？			(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？
	昭利58年度 から			補助事業の目的が、会員相互の交流と親睦を図ることとなっており、補助事業の公益性について課題がある。
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？			
市内母子寡婦家庭の福祉増進を図る目的で、補助金制度が設けられた。				
(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？				
変化していない			変化し	
変化している			た内容	

3 評価(SEE)	目的妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務	→	根拠法令		
			自治事務	→	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する		
					根拠法令	みよし市母子寡婦福祉協議会活動費補助金交付要綱	
					この事務を行う根拠又は理由	市内の母子寡婦家庭の福祉増進を図るため。	
		(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく		理由		
			結びつかない	→			
		(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる	→	内容	母子寡婦家庭だけではなく父も含めたひとり親家庭	
			できない	→			
		(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる	→	内容	補助事業目的の見直し	
			追加	→			
	拡充	→					
	絞込み	→					
	できない						
(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい		理由又は内容	交流親睦のための事業が実施できない。			
	多少影響がある	→					
	影響はない	→					
(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？	できる		理由又は内容	対象者が限定されているため、今以上の向上は見込めない。			
	できない	→					
1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？							
(7)類似又は関連する事業はありませんか？また、類似事業との再編で費用対効果が向上しますか？	ある	→	類似事業名	ある	内容		
	ない	→				類似事業との再編の可能性	ない
(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある	→	内容	補助金交付要綱の見直し			
	ない	→					
(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある	→	内容				
	ない	→					
(10)受益者負担はありますか？また、受益者負担割合は適正ですか？	ある	→	内容				
	ない	→					
	受益者がいない	→					

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
		コストの方向性	削減	事業費の方向性	減額	成果の方向性	低下
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	補助対象団体が23年度末に解散したため、25年度より事業廃止とする。					